

ECBは市場予想通り政策据え置き、9月会合での判断に自由度を残す

主要金融市場の動き

株式	(単位:ポイント)	7月18日	7月17日	前日差
日本	日経平均株価(円)	40,126.35	41,097.69	-971.34
	-CME日経平均先物(円)	40,055.00	40,240.00	-185.00
	TOPIX(東証株価指数)	2,868.63	2,915.21	-46.58
	参考)東証REIT指数	1,748.22	1,744.56	3.66
米国	NYダウ(米ドル)	40,665.02	41,198.08	-533.06
	S&P500	5,544.59	5,588.27	-43.68
	-S&P500配当貴族指数	4,533.35	4,567.38	-34.03
	ナスダック総合指数	17,871.22	17,996.93	-125.70
ドイツ	DAX®指数	18,354.76	18,437.30	-82.54
英国	FTSE100指数	8,204.89	8,187.46	17.43
豪州	S&P/ASX200指数	8,036.50	8,057.90	-21.40
中国	上海総合指数	2,977.13	2,962.85	14.28
香港	ハンセン指数	17,778.41	17,739.41	39.00
インド	S&P BSE SENSEX指数	81,343.46	休場	-
ブラジル	ボベスパ指数	127,652.06	129,450.32	-1,798.26
先進国	MSCI WORLD	3,579.84	3,607.74	-27.90
新興国	MSCI EM	1,105.95	1,111.46	-5.51
商品	(単位:米ドル)	7月18日	7月17日	前日差
原油	WTI先物(期近物)	82.82	82.85	-0.03
金	COMEX先物(期近物)	2,456.40	2,459.90	-3.50
10年国債利回り	(単位:%)	7月18日	7月17日	前日差
日本		1.036	1.035	0.001
米国		4.202	4.160	0.043
ドイツ		2.411	2.421	-0.010
オーストラリア		4.245	4.235	0.010
為替(対円)	(単位:円)	7月18日	7月17日	前日比%
米ドル		157.37	156.16	0.77
ユーロ		171.47	170.84	0.37
英ポンド		203.67	203.13	0.27
カナダドル		114.79	114.10	0.60
オーストラリア(豪)ドル		105.51	105.05	0.44
NZ(ニュージーランド)ドル		95.11	94.82	0.31
シンガポールドル		117.07	116.42	0.55
中国人民幣元		21.672	21.504	0.78
インドルピー		1.8823	1.8679	0.77
インドネシアルピア(100ルピア)		0.9738	0.9696	0.43
メキシコペソ		8.756	8.804	▲0.54
ブラジルレアル		28.368	28.481	▲0.40
トルコリラ		4.754	4.716	0.79
ロシアルーブル		1.7800	1.7644	0.88

注) CME: シカゴ・マーカンタイル取引所。CME日経平均先物は円建て契約で、単位:ポイント。
 MSCI WORLD、MSCI EMは米ドルベース。
 WTI(West Texas Intermediate)原油先物: ニューヨーク・マーカンタイル取引所(NYMEX)で取引される米国の代表的な原油先物。
 COMEX金先物: CMEグループを構成するニューヨーク商品取引所で取引される代表的な金先物。
 表中の数値は作成時点の数値であり、掲載時点の数値とは一致しない場合があります。
 前日差は原数値の比数であり、表記の数値とは四捨五入の関係で合致しない場合があります。
 本資料は、作成時点でLSEGにおける情報が更新されていない場合、数値を記載できないことがあり、その場合、「N/A」と表示しています。また、取引所が休場であっても、LSEGにおいて数値が掲載されている場合は、当該数値を記載していることがあります。
 出所) MSCI、LSEGより当社経済調査室作成

主要国株式の動き



注) 直近値は2024年7月18日

出所) LSEGより当社経済調査室作成

◆マーケットの動き:

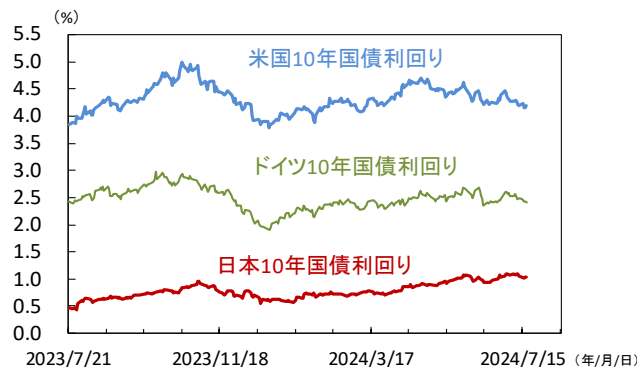
- 日本株は大幅下落。台湾の半導体製造大手TSMCの好決算が発表されるも、米国の対半導体規制を巡る不透明感が続き、東京エレクトロン等の半導体関連銘柄が軒並み軟調。同社株価は前日比▲8.75%と大幅続落。
- 為替市場では円高が急伸、18日の東京市場では1ドル155円台へ。その後は反発の動きも157円台と円高続く。
- 18日、中国共産党の重要会議「三中全会」が閉会。方針の維持が示され、習主席の権力長期化の観測も。
- 米国株は下落。幅広い業種が売られ主要3指数が揃って下落。7月13日終了週の新規失業保険申請件数は24.3万件を前回(22.3万件)から増加し労働市場の軟調を示唆。
- 7月欧州中銀(ECB)理事会は金利据え置き(リファイナンス金利:4.25%)を決定。ラガルドECB総裁は次回9月会合での金融政策は全く決まっていないと発言。年内の利下げはあと1回との考えが政策委員の間に広まっているとの情報筋報道もあり、市場の利下げ期待が後退。

◆本日の注目点:

FRB要人発言、米大統領選

米連邦公開市場委員会(FOMC)の発言自粛期間(20日～)を控え、FRB高官からの発言が相次ぐ。ボウマン理事や今年のFOMCで投票権を持つアトランタ連銀ボスティック総裁が発言を予定。また、米大統領選を巡り民主党バイデン大統領への候補者撤退圧力が高まっているとの報道から週末の動きに注意したい。(清水)

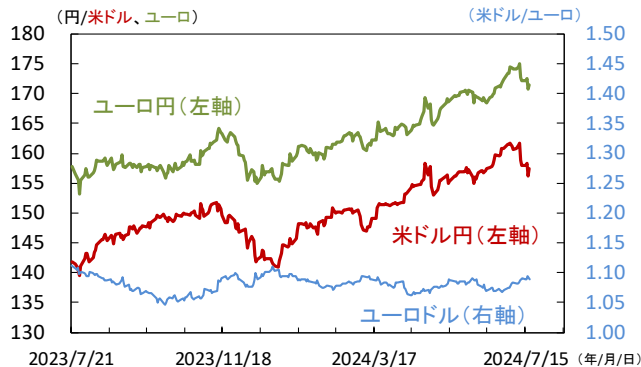
主要国金利の動き



注) 直近値は2024年7月18日

出所) LSEGより当社経済調査室作成

主要通貨の動き



注) 直近値は2024年7月18日

出所) LSEGより当社経済調査室作成

本資料に関してご留意頂きたい事項

- 本資料は、投資環境等に関する情報提供のために三菱UFJアセットマネジメントが作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。販売会社が投資勧誘に使用することを想定して作成したものではありません。
- 本資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 本資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。
- 各ページのグラフ・データ等は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮していません。
- 本資料に示す意見等は、特に断りのない限り本資料作成日現在の三菱UFJアセットマネジメント戦略運用部経済調査室の見解です。また、三菱UFJアセットマネジメントが設定・運用する各ファンドにおける投資判断がこれらの見解に基づくものとは限りません。

本資料中で使用している指数について

「日経平均株価」に関する著作権、知的所有権、その他一切の権利は日本経済新聞社に帰属します。
 TOPIX (東証株価指数)、東証REIT指数に関する知的財産権その他一切の権利は株式会社JPX総研又は株式会社JPX総研の関連会社に帰属します。
 ドイツ「DAX®」: 本指数は、情報提供を目的としており、売買等を推奨するものではありません。
 FTSE International Limited(“FTSE”)©FTSE。 “FTSE®”はロンドン証券取引所グループ会社の登録商標であり、FTSE International Limitedは許可を得て使用しています。FTSE指数、FTSE格付け、またはその両方におけるすべての権利は、FTSE、そのライセンサー、またはその両方に付与されます。FTSEおよびライセンサーは、FTSE指数、FTSE格付け、もしくはその両方、または内在するデータにおける誤りや省略に対して責任を負わないものとします。FTSEの書面による同意がない限り、FTSEデータの再配布は禁止します。
 MSCI WORLD、MSCI EMに対する著作権およびその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。



三菱UFJアセットマネジメント

三菱UFJアセットマネジメント株式会社
 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第404号
 加入協会: 一般社団法人投資信託協会
 一般社団法人日本投資顧問業協会